科目名	臨床実習Ⅱ					
分野	専門分野	担当教員	早川　雅成,山﨑　由紀也			
開講時期	1学年　1･2･3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	45					1
科目の概要	運動器を専門とする医療従者に最低限必要な基本的実務（実技）を理解しながら実習する． ※ ペア（2～3人）を組んで行うのが基本となります．（早川） 臨床に必要な基礎知識を体験を通して学ぶ（山﨑）					
学習の到達目標	人体の各骨（骨性指標含む）・関節・筋の形態・機能の把握・触知が確実にできる．身体計測（体節長・周径等）が正確かつ迅速にできる，対象となる筋を理解した上で徒手筋力検査を的確に行うことができる．当該外傷を判断し診療録の記載・複数の徒手整復法を行うことができ迅速に効果的な外固定が作成できる．当該外固定の装着（包帯含む）が円滑にできる等．（早川） 座学で得た知識と臨床をつなぐ。メジャーなランドマークを触診できる。基本的な関節運動を理解できる。（山﨑）					
成績評価の方法と基準	本学の規定に準ずるが、実習態度（服装・頭髪含む）・授業に対する姿勢も考慮する．（早川） 出席と授業態度、レポートをもって評価をおこなう（山﨑）					
使用テキスト	配布資料　※ 解剖学・柔道整復学等教科書を要す場合は事前に学生に通知します．（早川） 柔道整復理論　解剖学　（山﨑）					
参考文献	臨床理学療法評価学, リハビリテーション評価データブック（日本語版）, エビデンスに基づく理学療法 クイックリファレンス, ハーバード式診断テクニック 等（早川）					

講義計画	講義内容
1	ガイダンス　基本的な用語説明　体位　軸と面（山﨑）
2	施術の基本　評価　　問診　視診　触診　（山﨑）
3	上肢帯の触診　骨ランドマーク（山﨑）
4	上肢帯の触診　関節と運動（山﨑）
5	下肢の触診　骨とランドマーク（山﨑）
6	下肢の触診　関節と運動（山﨑）
7	体幹部の触診　骨とランドマーク（山﨑）
8	体幹部の触診　関節と運動（山﨑）
9	頭頸部の触診　骨とランドマーク（山﨑）
10	肩関節の関節可動域測定（早川）
11	肘関節・前腕・手関節の関節可動域測定（早川）
12	股関節・膝・足関節の関節可動域測定（早川）
13	上肢（上腕・前腕等）の周径：対象筋の触察含む（早川）
14	下肢（大腿・下腿等）の周径：対象筋の触察含む（早川）
15	関節可動域測定と四肢周径のまとめ（早川）

16	ガイダンス：固定の意義と種類，ショートアームキャスト固定・三角巾提肘 ①（早川）
17	ショートアームキャスト固定・三角巾提肘 ②（早川）
18	膝関節の外傷を想定したギプスシャーレ固定（包帯固定含む）①（早川）
19	膝関節の外傷を想定したギプスシャーレ固定（包帯固定含む）②（早川）
20	診察（問診・視診・触察等），診療録（カルテ）記載について（早川）
21	コーレス骨折の徒手整復（牽引直圧整復法・屈曲整復法）（早川）
22	コーレス骨折の固定作成（クラーメルシーネ・厚紙副子の作成）（早川）
23	コーレス骨折：診察・診療録（カルテ）記載，徒手整復・固定（クラーメルシーネ・厚紙副子・包帯）（早川）
24	鎖骨骨折の徒手整復（早川）
25	鎖骨骨折の固定作成（ストッキネット使用：リング固定変法）（早川）
26	鎖骨骨折：診察・診療録（カルテ）記載，徒手整復・固定（クラーメルシーネ・厚紙副子・包帯）（早川）
27	肩関節脱臼の徒手整復（ヒポクラテス法・コッヘル法）（早川）
28	肩関節脱臼の固定作成（厚紙副子）（早川）
29	肩関節脱臼：診察・診療録（カルテ）記載，徒手整復・固定（厚紙副子・包帯・三角巾提肘）（早川）
30	手指外傷のアルミ副子固定（採型・包帯固定）（早川）